

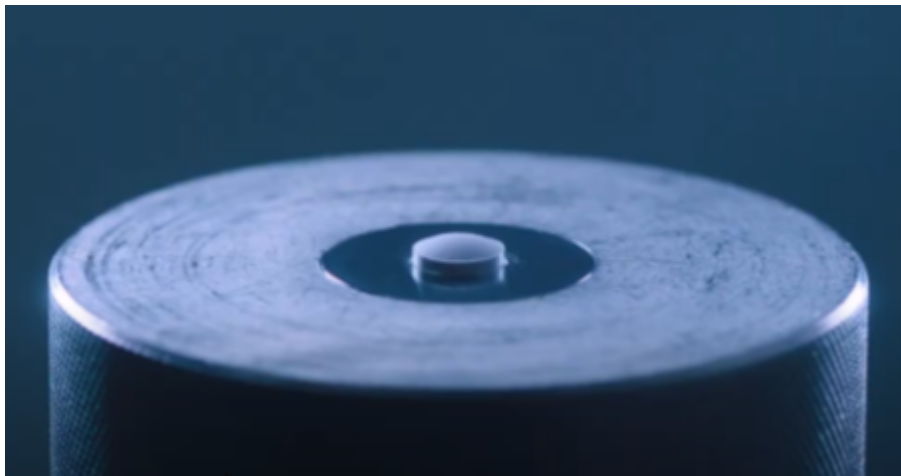
報道関係者各位

2024年11月12日

沢井製薬株式会社

**沢井製薬 新Web 動画「薬の技術を生み出す」篇「QualityHug®」篇の配信を開始
技術が生む挑戦—見えないところで健康を支える取り組みを発信**

沢井製薬株式会社(本社:大阪市淀川区、代表取締役社長:木村元彦)は、新Web 動画「薬の技術を生み出す」篇および「QualityHug®」篇の配信を開始します。本動画では、当社の研究開発をテーマに技術を生み出す姿勢、および具体的な技術を紹介し、一般生活者にそのメッセージを届けます。なお、11月12日(火)よりYouTubeとTVerで動画を展開します。



動画のワンシーン:錠剤が排出される瞬間

■制作の背景

当社は企業理念である「なによりも患者さんのために」のもと、社会が直面する課題や患者さんの不安に応えるため常に付加価値を追求し続けており、「SAWAI HARMOTECH® (サワイハーモテック)」^(※1)や、「QualityHug® (クオリティハグ)」^(※2)といった技術を有しています。本動画は、優れた技術を提供するための努力を惜しまない姿勢と、新技術ブランド「QualityHug®」をテーマに当社の取り組みを一般生活者に広く知っていただくことを目的に制作しました。2024年に発表し、グッドデザイン賞を受賞したQualityHug®の動画では、偽造医薬品問題への活用が期待できる技術やニトロソアミン^(※3)への不安対策技術など、当社のオリジナル技術を紹介しています。また、本動画は当社の本社研究所(大阪市淀川区)および開発センター(大阪府吹田市)を舞台に撮影しており、実際の現場の雰囲気を感じていただけるのもポイントです。

(※1)「SAWAI HARMOTECH®」についてのご案内

https://www.sawai.co.jp/medicine/sawaigenerics/research/sawai_harmotech/

(※2)「QualityHug®」についてのご案内

<https://www.sawai.co.jp/medicine/sawaigenerics/research/qualityhug/>

(※3)国内外で問題になっている発がん性の懸念のある物質

■新Web動画の概要

テーマ:「薬の技術を生み出す」篇、「QualityHug®」篇(15秒、30秒)

放送開始:11月12日(火)～

放送媒体:YouTube、TVer

■新たに公開したWeb 動画

(1)「薬の技術を生み出す」篇

薬をつくるためにはひらめき、膨大なデータ、判断力が必要です。「ひとつ上の品質」をお届けするため、研究開発に邁進する研究員および開発姿勢を表現した内容となっています。



動画URL (15秒): <https://youtu.be/fLYSs3u-v0E>

動画URL (30秒): <https://youtu.be/PWeFrVzddZc>

(2)「QualityHug®～カザリア～」篇

世界中で偽造医薬品が問題となっています。カザリアは偽造医薬品問題への活用の可能性を秘めた技術であり、社会問題の解決に取り組む当社の姿勢をお伝えする内容となっています。

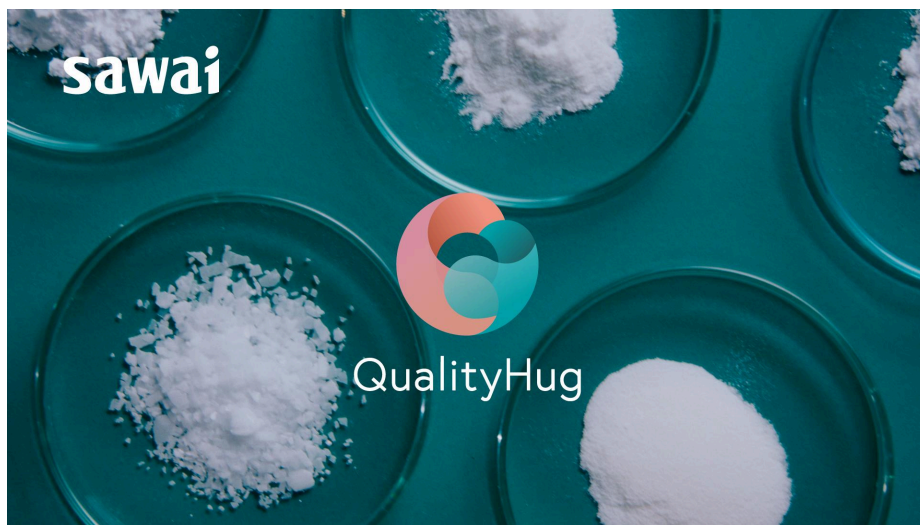


動画URL (15秒): <https://youtu.be/5tuhuuqHbho>

動画URL (30秒): <https://youtu.be/S6eGqht56wo>

(3)「QualityHug®～サプレナ～」篇

近年、薬をつくる過程において発がん性の懸念のある物質「ニトロソアミン」の混入リスクが問題となっています。そのリスクを抑え、薬づくりに役立つ技術をお伝えする内容となっています。



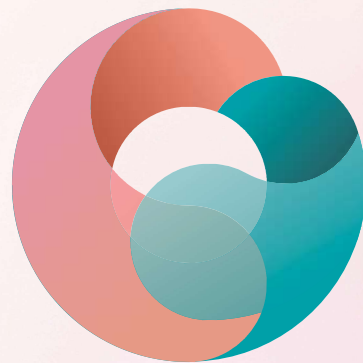
動画URL (15秒): <https://youtu.be/BFRkX6ebDDw>

動画URL (30秒): https://youtu.be/rYJTftX4c_w

◆報道関係者様お問い合わせ先◆

沢井製薬株式会社 コーポレートコミュニケーション部

TEL:06-6105-5718／E-mail:koho@sawai.co.jp



科学と技術で 患者さんに寄り添う

QualityHug

QualityHug®は、

お薬を飲む患者さんの気持ちに寄り添った薬をつくるための技術群

偽造医薬品の対策や、

薬をつくる際に発生する発がん性物質「ニトロソアミン」の混入対策など、

科学と技術の力で患者さんが薬を安心して飲める未来を実現します。



背景と課題

偽造医薬品問題

偽造・低水準の医薬品、いわゆる「偽造医薬品」が世界中で問題になっています。近年、日本でも報告事例があったことを契機に対策が求められています。これまで偽造医薬品対策として、外箱などパッケージへの偽造対策はありましたが、錠剤そのものへの対策は少ないという現状でした。

解決策！

**薬（錠剤）を
一目見ただけで分かる技術を開発！**

錠剤そのものに模様をつける技術を開発。偽札防止につかわれる「すかし技術」のように、錠剤を見るだけで沢井製薬が作った薬であることが分かるようになります。



ニトロソアミン(発がん性物質)の 混入リスク問題

「ニトロソアミン」は国内外で問題になっている発がん性物質。2021年10月には厚生労働省より(ほぼ)全ての医薬品におけるニトロソアミン混入リスク管理について通達が出されました。安全な医薬品を届けるため、日本のみならず世界中の研究者達がこの問題に向き合っています。

解決策！

**「ニトロソアミン」の
リスクを予測する技術と生成を抑える
添加剤の2つの技術を開発！**

科学と技術によって、リスクを抑えながら効率的に、自由度の高い医薬品の設計が可能になります。



偽造医薬品問題 に伝える技術

一目でサワイの薬だと識別可能に

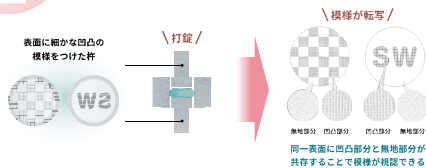
Kazaria® (カザリア)

モリマシナリー株式会社との共同開発・共同出願
特許：特願2024-056208



打錠(だじょう)工程の杵(きね)に着目

粉の薬をギュッと圧縮して錠剤の形にする
「打錠」という工程に着目。



表面に細かな凹凸をつけた杵で圧縮することで、錠剤に模様をつける技術を開発。何の薬かがわかったり、製造元を確認可能に。

POINT

- ・錠剤を見るだけ、という分かりやすさ
- ・既存技術の応用なので製造工程に負荷をかけず、生産効率を落とさない
- ・マイクロオーダーの凹凸から成る模様であるため、模倣が困難

ニトロソアミン(発がん性物質)の混入リスク問題 に伝える技術

生成リスクを予測可能に

NOXANA (ノクサナ)

特許：国際公開WO2024/075783



NOx(ノックス)に着目

ニトロソアミンはアミンとNOx(窒素酸化物)という物質が反応してできる化合物。
我々は「NOx」に着目。



汎用する、個々の医薬品添加剤(薬の有効成分以外の物質)に含まれるニトロソアミン生成の原因物質「NOx」のうち、実際にニトロソアミンの生成に寄与するNOxを「反応性NOx」と定義し、実験により得られた反応性NOx量をデータベース化。製剤設計の際に反応性NOxが少ない添加剤を選択することにより、リスクを低減。

POINT

- ・汎用性の高い技術で、さまざまな製剤設計に貢献可能

生成を抑制

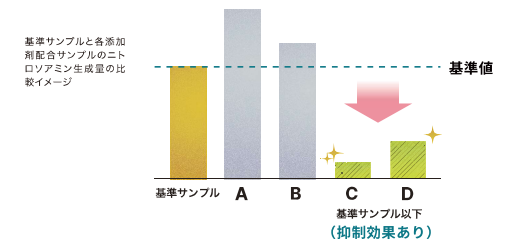
SUPRENA (サプレナ)

特許：国際公開WO2024/075784



抗酸化剤(ビタミンCなど)の効果を参考

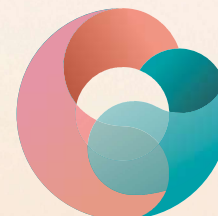
ニトロソアミンになる反応は、
抗酸化剤で抑制できるといわれている。
それを参考に、近い効果をもつ添加剤を選定。



製剤処方として配合することにより、品質への影響を最小限にしつつニトロソアミンの生成を抑制できる添加剤を発見。添加剤の使用制限が緩和され、製剤設計や製法設計における自由度が高まることが期待できる。

POINT

- ・汎用性の高い技術で、さまざまな製剤設計に貢献可能



沢井製薬のオリジナル技術

QualityHug

クオリティハグ